

3. 北信がんプロフェSSIONALがん専門医養成系の履修例

- 履修例 1 : 生体機能形態医学に関する分野を主として履修した場合
 主科目として病態診断医学を選択し、副科目として、北信がん専門医養成系必修の10科目を、関連する基礎的および先端的知識と技術習得するための共通科目としての医の倫理および生命倫理学の他にがん専門医系選択科目から、分子腫瘍学特論、分子生物学入門、腫瘍病理学演習を選択した例。
- 履修例 2 : 生体制御医学に関する分野を主として履修した場合
 主科目としてゲノム医科学を選択し、副科目として、北信がん専門医養成系必修の10科目を、関連する基礎的および先端的知識と技術習得するための共通科目として、生命倫理学および生命倫理学の他にがん専門医系選択科目から、臨床統計学特論、臨床統計学演習、分子生物学入門を選択した例。
- 履修例 3 : 健康生態医学に関する分野を主として履修した場合
 主科目として分子腫瘍学を選択し、副科目として、北信がん専門医養成系必修の10科目を、関連する基礎的および先端的知識と技術習得するための共通科目として、医の倫理および生命倫理学の他にがん専門医系選択科目から、分子腫瘍学特論、臨床統計学特論、臨床統計学演習を選択した例。

	授業科目の名称	単位数	履修例 1	履修例 2	履修例 3
授業科目の概要	専門科目 (主科目)	(生体機能形態医学分野)			
		病態診断医学講義	4	○	
		病態診断医学演習	4	○	
		病態診断医学実験実習	4	○	
		(生体制御医学分野)			
		ゲノム医科学講義	4		○
		ゲノム医科学演習	4		○
		ゲノム医科学実験実習	4		○
		(健康生態医学分野)			
	分子腫瘍学講義	4			○
	分子腫瘍学演習	4			○
	分子腫瘍学実験実習	4			○
	北信がん専門医養成系 (必修)	がんゲノム医療特論	副 全 10 科目 履修 により 8 単位 として 認定	○	○
小児・AYA・希少がん特論		○		○	○
ライフステージに応じたがん医療特論		○		○	○
在宅緩和ケア特論		○		○	○
腫瘍薬物学特論		○		○	○
腫瘍放射線医学特論		○		○	○
がん緩和医療学特論		○		○	○
腫瘍病理学特論		○		○	○
臨床腫瘍学特論		○		○	○
がん外科学特論		○		○	○
北信がん専門医養成系 (選択)	分子腫瘍学特論	3 科目 を 選択	○		○
	臨床統計学特論			○	○
	臨床栄養学特論				
	臨床統計学演習			○	○
	分子生物学入門			○	
	がんライフステージ演習				
	腫瘍薬物学演習				
	腫瘍放射線医学演習				
	がん緩和医療学演習				
	腫瘍病理学演習			○	
臨床腫瘍学演習					
がん外科学演習					
共通科目 (選択必修)	医の倫理	1 1 } いずれかを	○		○
	生命倫理学			○	
研究 特別	生命医科学特別研究	6	○	○	○
合計修得単位数			30	30	30